

會から

○本誌の出る頃
は、幼稚園に新入園児を迎えて、皆さんの最もおいそがしい最中でしよう。ことは入園希望者が多いということです。戦災地などでは、幼稚園の少なくなったことも、その理由の一つでしょうが、金盤として、幼稚園の必要を家庭が感じ来つたことは、その深い理由でしよう。われくの責任はいよいよ重くなりました。

○その責任を果すために、保育法の研究に力を盡さなければならぬことは申すまでもありません。しかも、お互の勉強は、保育方法の直接の事項と共に、深い廣い研究に心を用いなければなりません。本誌は、この、保育の實際と教養的研究との一方に偏しないようにと氣をつけています。そのため、もつと實用的材料を多くという御希望に充分そわないところもありましたが、だんくその點も氣をつけたいと思います。しかし、必ずしもすぐ役に立つといつたことではない研究面が稀薄にならないようにとも思っています。

○講座欄もその趣旨からの一つです。前號で牛島教授の「個性心理」を終り、本號には段

瀬博士を頼わして「病氣のくせ」を執筆していました。小兒病一般の醫學知識といつては有益のものです。講座欄は少しかたいものになりますが、研究のため精讀して、また長い間の知識としていただきます。

『幼兒の教育』編集

編集主幹

倉橋惣三

編集委員

牛島義友
川藤文雄
多田鐵雄
下俊郎
(五十音順)

編集部員

丸山長治
日本幼稚園協会

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
編集兼發行者 倉橋惣三
東京都千代田區神田神保町三ノ二九
印刷者 發田榮藏
東京都千代田區神田神保町三ノ二九
印刷所 明和印刷株式會社
東京都文京區大塚町三十五
東京都千代田區神田神保町三ノ二九
東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
發行所 株式会社 フレーベル館
東京都千代田區神田神保町三ノ二九
振替 東京一九六四〇番

○本誌御購読について注文申込その他は凡て發賣所フレーベル館宛に願います